

# 検討委員会の今後の進め方

# 本市における自由化の影響

## 【ガス事業】

- 平成29年4月の小売全面自由化から2年を経過したが、現在までのところ新規参入なし。

	現状	今後の可能性
ガスの調達	<ul style="list-style-type: none"><li>天然ガスパイプライン未整備</li><li>LNGを県外から調達・輸送することが必要</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>富山方面からの天然ガスパイプライン延伸</li><li>競争促進のためのガス卸供給制度の整備</li></ul>
ガスの製造	<ul style="list-style-type: none"><li>LNGサテライト設備建設に多額の投資が必要</li><li>高圧ガス保安法上の有資格者の配置が必要</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>小型化等によるLNGサテライト設備の低価格化</li></ul>
消費機器調査	<ul style="list-style-type: none"><li>調査員資格保有者の確保が必要</li></ul>	

## 【発電事業】

- 平成28年4月の発電全面自由化から3年を経過したが、北陸電力との長期契約の下、大きな影響なし。

	現状	今後
売電価格	<ul style="list-style-type: none"><li>卸市場価格等も踏まえ自由化前よりも上昇</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>長期契約終了後の価格水準は不透明</li></ul>
地産地消	<ul style="list-style-type: none"><li>北陸電力の小売供給区域拡大により、地産地消という事業意義の希薄化</li></ul>	

## 今後の経営形態のあり方検討を行う背景

- 電力・ガス自由化や人口減少等により事業環境が大きく変化していく中で、地方公営企業という形態で事業を続けていくことが、市民にとって有益なものであるか否かを、明らかにすることが求められている。

ガス事業	今後の環境変化	求められる対応	公営での課題
	<b>競争激化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>電力・LPGとの競争のさらなる激化</li> <li>新規参入者との新たな競争発生</li> </ul> <b>人口減少</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緩やかに進む需要縮小</li> <li>空き家等による資産効率の低下</li> </ul>	<b>サービスの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者が満足できる充実したサービスの提供</li> </ul> <b>経営の効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>料金水準の維持・低廉化のための経営効率の向上</li> </ul>	<b>サービス提供範囲の制限</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>法令上、サービスの多角化が困難</li> </ul> <b>需要構造の変化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用需要の減少</li> </ul>

発電事業	今後の環境変化	求められる対応	公営での課題
	<b>入札導入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北陸電力との長期契約終了後の一般競争入札への移行</li> </ul> <b>脱炭素化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー主力電源化による水力発電の価値向上</li> </ul>	<b>経営力の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>売電価格の変動に備えた経営力の強化</li> </ul> <b>水力の環境価値活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>水力発電の環境価値活用とそれによる地域貢献の実現</li> </ul>	<b>電力供給能力の増強困難</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規水力発電所の建設適地がなく、出力増強も限界</li> </ul> <b>環境価値の市外への流出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>小売を行っていないため、環境価値は市外に流出</li> </ul>

## 論点（案）

---

### 【論点 1】

- 地方公営企業として事業を行う今日的意義は何か。

### 【論点 2】

- 市民にとって最も有益な経営形態とは何か。

## 今後の検討スケジュール（予定）

- 第2回以降の検討委員会のスケジュールは、下記のとおりを予定。

時期	あり方検討委員会
7月中旬	第2回委員会
9月下旬	第3回委員会
11月上旬	第4回委員会

※ 年内に答申